

建築とび工

川島一男さん (71) 土浦市

建物を壊さずに移動させる「曳家」や、建物自体を持ち上げる「揚家」。これまで住宅や文化財、神社仏閣など計200軒超を手掛けた。



曳家は基礎に穴を開けて鉄道のレールを入れるなどし、ジャッキで建物を持ち上げる。その下にレ

「曳家」建物ごと移動

ールと枕木を引き、ローラーの上に載せた建物をウインチで引っ張って移動させる技術だ。東日本大震災の液状化被害では、基礎の造り替えに貢献した。「いかに（建物を）傷めずに引くか」が重要だ。

父親の背中を追い、18歳でとび職の世界に飛び込んだ。現在は「県鳶・土木工業会」の副会長として、次世代を担う職人の育成にも尽力する。受賞について「みんなのおかげ。励みになる」と語った。